
トップバスター！【予告編風】

スマッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トップバスター！【予告編風】

【Nコード】

N0205H

【作者名】

スマッシュ

【あらすじ】

巨大ロボ「バスターA」の雄姿、その目に焼き付ける！連載するかしないか知らんですシリーズ。

西暦20XX年。

徐々に激化した巨乳党と貧乳党の争いはピークに達していた。

各国はそれぞれ国民がより多く支持する乳の側につき、争いを始めた。

一方、国内でも対立は止まず、日々内戦が起きていた。

そして、その戦いの中へ一人の貧乳少女が歩んでいくのであった

『トップバスター!』

「平野美優です。トップバスターは70です」

「平野君、よくぞ我ら貧乳軍へ加わってくれた。そして素晴らしいまっ平らだ」

日本は巨乳党の人数が多かった。

少数派の貧乳党は戦闘においても劣勢であった。

「向こうの方が多いいんだ。一人で千人ぶっ殺せるような漫画チックなヒーローが必要なのださ」

そう言った一人の男に連れられて、少女は貧乳軍の切り札と遭遇する。

「これは……」

「僕達の最終兵器、バスターAさ」

「巨大ロボですね」

「巨大ロボだともさ。おまけに感情のあるスーパーロボットだ」

「リアル系じゃないんですね」

「そこが重要さ」

バスターAには一つの特徴があった。

「たとえ巨乳軍に乗っ取られても、問題がないようになっていく」

「どうしてですか」

「このロボは感情がある。そしてコイツは」

貧乳美少女が乗らないと動かない。

「それが君だ。平野君」

「私が……これを……？」

「ああ」

操縦者を得たバスターAは一機で巨乳軍を圧倒した。

貧乳軍が優勢、そう判断することすら可能なほどに。

しかし、バスターAで戦う平野の前に強大な敵が現れる。

「こんにちは、平野美優。私はこのビッグアクションのパイロット、

豊山由玲です」

「由玲ちゃん……！？」

「はい。お久しぶり。美優ちゃん」

巨乳軍もまた巨大ロボット「ビッグアクション」を導入。

パイロットは美優の友人、豊山由玲だったのだ。

「さあ、始めましょう。私たちのどちらが正しいのか。それを決める戦いを」

貧乳なら、愛しあえた

2009年、したりしなかつたり
連載開始

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0205h/>

トップバスター！【予告編風】

2011年1月16日09時42分発行